



2010年8月31日

「環境」「教育」「女性」の分野で先駆的な活動をするNPOの自立を支援

「日本興亜おもいやりプログラム」にかかる 2010年度助成先を公募します

日本興亜損害保険株式会社（社長：兵頭 誠）は、「日本興亜おもいやり倶楽部」^(※1)を通じて、「日本興亜おもいやりプログラム」の2010年度助成対象団体を、9月13日から公募いたしますのでお知らせします。

「日本興亜おもいやりプログラム」は、NPOを中心とする民間非営利団体の活動への自立支援を通じて、非営利セクターの発展とともに健全な社会の発展に貢献することを目的としています。

同プログラムは2005年より通算で、26団体に合計1,300万円の支援を行ってまいりました。本年度は、初めて公募による助成を行うことになりました（公募の概要は別紙のとおりです）。

私たちは、社会の継続的な発展に貢献するために、非営利団体の自立を支援することが重要であると考えています。支援は一過性・一方的に終わるのではなく、支援先と協働を図りながら、私たちも社会とともに良くなっていきたくと考えています。そのために、民間非営利団体支援の専門組織である特定非営利活動法人パブリックリソースセンター^(※2)との協働のもと、同プログラムを実施しています。

助成の対象となる団体は、「環境」「教育」「女性」の3分野のいずれかで先駆的な活動を行う民間非営利団体です。団体の自立・自稼動を支援するための資金として、総額300万円を助成する予定です。

(※1) 「日本興亜おもいやり倶楽部」

日本興亜保険グループの役職員有志を会員とするマッチングギフト制度であり、1996年に発足しました。会員が毎月の給与から拠出した金額に会社が同額を上乗せして、団体等に寄付をするなど、両者一体となった社会貢献活動を行っています。

(※2) 「特定非営利活動法人パブリックリソースセンター」

2000年1月に設立された、非営利・中立のシンクタンクです。協働による「パブリックリソース」開発を通じ、民間非営利団体の発展と非営利セクター強化を図り、新たな市民社会の仕組みづくりをめざす民間非営利の実践型シンクタンクです。

以上

「日本興亜おもいやりプログラム」2010年度助成先公募の概要

■助成の対象団体

下記の3分野のいずれかで先駆的な活動をしており、かつ団体の自立・自稼働への高い意識を有する組織、あるいは、3分野のいずれかの活動を行う団体の自立・自稼働を支援する中間支援組織

1) 環境

・生物多様性の維持、森林保全等、地球温暖化防止、環境保全に貢献する活動・研究

2) 教育

・教育分野における課題の解決を目指した活動、先駆的、独創的な活動・研究
・既存の制度では支援、実施が困難な青少年に対する教育を目指した活動・研究

3) 女性

・女性に関わる社会的課題の解決を目指した活動・研究
・女性の社会参画に関わる先駆的、独創的な活動・研究

■助成対象プロジェクト

団体の自立・自稼働につながるプロジェクト

(例)

- ・人材の育成
- ・広報ツールの作成
- ・ファンドレイジング（資金調達）体制の強化 等

■助成額と使途

- ・一団体あたり助成額：50万円。ただし、審査により変更する場合があります。
- ・助成額総額：300万円
- ・助成金の使途に制限は設けません。団体の自立や組織基盤の強化につながる、人件費、家賃、設備費、研修費、講師謝金などを助成します。

■助成対象事業期間

2011年2月1日（火）から2012年1月31日（火）までの1年間

■応募受付期間

2010年9月13日（月）から2010年10月12日（火）まで

■募集に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター 担当：田口
電話：03-5540-6256、メール：center@public.or.jp
ホームページ：<http://www.public.or.jp>

※詳細はパブリックリソースセンターのウェブサイト（<http://www.public.or.jp/news/2010/08/2010.html>）に掲載の「応募要項」をご参照ください。「応募用紙」はこのウェブサイトよりダウンロードできます。